

北九州 市議会 だより

PRESS

No. 160

平成15年1月1日号
(年4回発行)

新春号

おもな内容	ページ
本会議での質疑・質問	2～4
市議会を傍聴してみませんか?	5
意見書、請願・陳情、お知らせなど	5

あけましておめでとうございます
今年も市民の皆様のご期待にこたえるよう
議員一同力を尽くします。



市議会の虚礼廃止にご理解を！

—— 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています ——

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
 - 議員や後援会がお歳暮やお中元をすること
 - 議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと
 - 市民や団体が議員に寄附などを求めること
- (自筆の答礼は除く)

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。



12月定例会

本会議での質問と答弁は、紙面の都合により要約したものを掲載しています。詳細は、2月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも3月頃から閲覧できます。

本会議の質問と答弁

12月定例会は、12月2日から12月6日まで開かれました。市長から33件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。また、議員から提出された議案は9件で、うち5件を可決しました。

本会議では、各会派から次の11人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順)

- 野依謙介 (日本共産党)
- 長野敏彦 (社民市民連合)
- 戸町武弘 (自民市民クラブ)
- 平田勝利 (公明党)
- 柳井誠 (日本共産党)
- 山田征士郎 (北九州市民クラブ)
- 上田唯之 (自由民主党)
- 藤沢加代 (日本共産党)
- 三宅まゆみ (新しい風)
- 敷田信代 (ふくおかネットワーク)
- 荒川徹 (日本共産党)

関門海峡ミュージアムの管理経費について

議員 市が管理・運営を県から受託することになる関門海峡ミュージアムの展示ゾーンについては、使用料収入だけで管理運営費を賄うことができるのか。

仮に足りない場合、安定した施設運営が行えるようにするため、県に心分の負担を求めているどうか。
企画政 関門海峡ミュージアム策室長 は、平成十二年度の県との協議で、事業費はおおむね折半し、完成後は県との共同施設とする旨の基本合意に達した。施設の持分はおおむね半分ずつで、有料となる展示エリアを県、無料開放予定の市民ギャラリーを市がそれぞれ所有し、その他のスペースは共有となる。

この施設では、関門海峡地域の歴史や文化、昔の門司港の町並みなど色々な情報を一度に知ることが出来る。また、悪天候や非常に寒いときでも、観光客を受け入れることができるなど門司港レトロ観光の中核となる施設である。し



関門海峡ミュージアム (完成予想図)

たがって、市が他の観光施設と一体的に運営していくことが望ましいと考えている。
県と市が共同整備した他の施設の例もあり、本市としては展示ゾーンの入場料収入以上の負担を県に求めるのは困難と考えている。なお、大規模補修や展示替えの際には、県も費用負担の方針を示しており、今後の協議の中で決めていきたい。

パソコン・英語教育と教育改革の基本方針について

議員 さまざまなことが世界的規模で展開されてい

くグローバル化の時代にあって、パソコンと英語は必須のものになると考える。子どもたちが誰でもパソコンと英語に慣れ親しむように、今からでも取り組むべきではないか。

また、ますます教育が重要視されてくると考えるが、北九州方式の教育改革について、基本方針を尋ねる。

教育長 二十一世紀を生き抜くために、情報を主体的

に選択して活用できる能力や国際社会に参画する態度等を育成することは大変重要であると受け止めている。学校教育においては、コンピュータ等を操作し活用できる能力や英語での意思疎通能力を小学校の早い段階から育成することが大切である。

今後は、すべての小学校で総合的な学習の時間などを活用して確実にパソコンの操作ができる児童の育成に努めていきたい。また、英語については、現在実施中の「小さな国際人育成事業」の対象校の枠をどう広げるのか検討を進めたい。

教育改訂の基本的な考えについては、現在、教育改革アドバイザー会議を設置して議論を重ねている。

また、新聞等を使った広報活動保護者・教員へのアンケート等を通じて北九州市教育改革プランの策定を進めている。全国初の施策、コミュニティや地域性をいかした北九州方式の教育改革施策も盛り込む予定である。学校だけでなく、家庭・地域との連携のもとで子どもたちの生きる力を育む教育の実現に向けて全力で取り組んでいきたい。

アジアにおける国際資源循環・環境産業拠点都市への取組は?

議員 エコタウン事業の第二期計画が発表されたが、その目標である「アジアにおける国際資源循環・環境産業拠点都市」に向けて、どのような取組を考えているのか。また、新門司地区など市内の他の地域への展開について、最終的にはどこまで広げていく考えなのか。

局長 に、都市における資源循環のあり方を世界に向けて積極的に発信したいと考えている。具体的には、①リサイクル事業に加えて、パソコン等を中古品として

再使用するリユース事業と、中古部品等を分解、洗浄、加工して販売するリビルト事業の誘致、②エコタウンをフィールドとした専門研修の実施や人材育成等、③国際的な資源循環に着目した静脈物流ビジネスの拡大、④先進的な処理技術や製造設備の海外市場への販売など、市内企業による国際的なビジネス展開を支援することとしている。

また、エコタウンの対象エリアについては、当面、響灘埋立地の東部地区全体を考慮しており、新たな事業集積を進め、一層の拠点化を図っていききたいと考えている。市内には新門司地区など環境産業として利用可能な用地が多数存在している。しかし、立地については、廃棄物の収集エリアや輸送手段といった個別事業の性格、既存リサイクル施設との連携及びインフラの整備状況などが重要な要素となる。したがって、市内の他の地域への展開については、どのような事業が立地に適しているか今後検討していきたい。

※静脈物流・ビジネス
廃棄物や再生資源等の流通に関するビジネス

新鮮力就職応援事業について

議員

戦後最悪の雇用状況のなか、新卒で就職する仕組みが崩壊するのではないかと危惧している。高校生・大学生等に対する新鮮力就職応援事業の内容と効果について尋ねる。

産業学術 この事業は、情報収集振興局長といたった就職活動の準備段階から学生を支援していくものである。

高校生に対しては適性に合った仕事選びに役立ててもらうため、来春の新一、三年生を対象に市内の業界の状況、各企業の仕事内容や魅力を紹介した「仕事情報誌」を作成することとしている。

大学生に対しては来春の新四年生を対象に「就職なんでも相談会」「適職獲得セミナー」を二月に実施したいと考えている。「就職なんでも相談会」は学生と市内企業の採用担当者との面談会のほか、専門の就職アドバイザーが効果的な就職活動の方法等について個別に相談を受けるものである。また、「適職獲得セミナー」は客観的な自己分析、効果的な自己アピールの方法等の習得を目指すものである。

効果としては、ミスマッチが少なく職業を選択することにより、企業は有用な人材を確保することができ、さらには、早期離職の防止を図り、若いときからの適切なキャリア形成を支援することができ、このよつなことから、安定した地域社会づくりにつなぐと考えている。

緊急借換特別資金

▼内容と効果は▲

議員

長引く景気低迷で中小企業の資金繰りは非常に逼迫しているが、今回、新たに創設する「緊急借換特別資金」の具体的な内容と効果を尋ねる。

産業学術「緊急借換特別資金」は、振興局長 地元中小企業の厳しい経営環境に対応して、借換えにより、返済期間を延ばすことで毎月の返済額を軽くするものである。

この制度の対象は、すでに本市の制度融資を受けており、その借入金の残高が四分の三以下である中小企業、あるいは、国が指定した土木工事業、貨物運送業など百七十八の不況業種のなかで市長の認定を受けた中小企業となっている。

なお、融資限度額は五千万円以内、融資期間は十年以内、融資利率は一・七〇パーセント、信用保証料は〇・七三パーセントとしている。金融機関から直接借り入れる場合に比べて、かなり有利な制度といえる。

効果は、借入金の残高、返済期間により異なるが、毎月の返済額を借換え前の半分以下にすることも可能な制度であり、中小企業の負担軽減や資金繰りの円滑化につながることを考えている。

開始時期は、平成十五年一月中旬を目標に準備を進めているが、できるだけ早く開始したい。またこの制度は臨時特例的な措置であり、当面、平成十六年三月末まで

の実施と考えている。

なお、市政だよりやホームページ、中小企業向け広報紙を活用し、積極的にPRしていきたい。

ホームページの更なる充実を！

議員

全国の九十八パーセント以上の自治体がホームページを開設している。本市も日本のホームページを目指して取り組んでいるが、民間の調査では高い評価は得ていない。この調査の項目には、児童向けの有無やオンラインサービスの有無などの項目があるが、本市は実施していない。早急にホームページの充実を図るべきではないか。

総務市 本市ではホームページを充実させるため、提供する情報の内容や量の充実、新鮮さ、見たい情報の探しやすさなどを目標として改善に努めている。

具体的には、「メールニュース北九州市」の開設、市議会会議録の掲載、粗大ごみのインターネット受付などである。また、各課のホームページ担当者の研修も実施している。

子供用のホームページについては、現在作成を進めており、今年度中に小学生を対象としたわかりやすい内容のホームページを開設する予定である。さらに、千種類以上の申請様式の電子化も今年度中に予定している。

今後、市民が望む情報を新鮮でわかりやすく提供することを目標にして、ホームページの充実に向けていきたい。

※オンラインサービス
通信回線等を使うことで、自宅のパソコン等から公共施設等の利用が予約できるようサービス

公共施設の建設について

▼必要性の判断は▲

議員

今後の公共施設の建設に当たっては、本当に必要かどうか一層厳しい判断が求められている。事前に市民の声を十分に聞くべきではないか。

市長

事業の実施に当たっては、企画段階において、議会や市民の意見を聞き、様々な観点から評価・検討した上で計画を立てている。その後、市民ニーズや社会・経済環境の変化を踏まえた上で各年度の予算編成を行い、議会の審議を通して、着実かつ効果的な実施に努めてきた。

特に行財政改革に取り組んでいる

スノーボード場設置 ～皿倉山に新しい魅力～



この冬、皿倉山山頂に民間運営の人工スノーボード場が設置されます。議員から、「集客予想と観光客の更なる誘致に向けた取組はどのようなものか」との質問がありました。

経済局長は、「皿倉山の優れた立地条件に着目したもので、全長約70メートル、幅20メートルの人工雪を使ったゲレンデを仮設する。帆柱ケーブル(鉄)もスノーボード場利用券とケーブルカー乗車券をセットにした割引チケットの導入を予定しており、期間中延べ5万人の利用を見込んでいる。スノーボード場開設は若い世代や広域からの集客など、観光面での効果が大きいと期待している。

また、皿倉山の集客対策については、ケーブルカーのリニューアル、駐車場増設などのアクセス整備、四季を通じた様々なイベントの企画などに力を入れてきた。今回の民間の取組を追い風に、今後はイベントを更に強化するとともに皿倉山・河内地域整備構想で計画されている山頂の魅力づくりを推進して年間を通し観光客でにぎわう皿倉山となるよう取り組んでいきたい」と答えました。

る。この数年は、ゼロベースの視点による予算編成など、各種事業について、緊急性や事業目的の達成状況といった都市経営の視点から必要性を厳しく評価してきた。また、市公共事業・公共施設等検討委員会や市公共事業再評価委員会など外部の意見も十分に聞き、事業ごとの必要性を厳しく判断し、計画の見直しや、事業の中止を決定した事例もある。さらに、今年度からは「行政評価」を導入することとした。これは、都市経営の視点から、簡素・効率的なサービスをより一層推進するために、行政の施策や事務事業を評価して、市民サービスを向上させていくための仕組みを体系化したものである。このように、公共施設の建設に当たっては、その必要性について事前に配慮しながら進めており、着手後も一定の基準に従って見直しをしている。今後も、問題意識をもって取り組んでいきたい。



フリースペース活動

子育て支援につなぐ

▼フリースペース活動▲

議員 地域で子どもを見守り、市民の助け合いによって子育てをサポートするフリースペース活動を広げていくべきと考えるが市の見解を尋ねる。

市長

子育てへの負担感や不安を解消して安心して子育てができる環境づくりを進めるためには、公的サービスや支援とともに地域住民が主体となった「見守り・ふれあい・支え合い」が重要である。

地域での子育て支援活動は従来、会員制の育児サークルが中心であったが、近年では身近な施設の一部を自由に集う居場所として開放する、いわゆるフリースペース活動を行う地域が増えている。また、子育て中の親同士の交流に取り組んでいるところが多いと聞いている。この活動には地域の子育て経

験者がボランティアとしてかわり、施設の開放とともに絵本の読み聞かせなどを行っている。

このような地域活動を促進するため、本市では市民福祉センターや公民館の乳幼児向けコーナーの整備、また、保健師などによる育児相談の実施などハード・ソフト両面から活動を支援している。今後も地域住民が主体となった子育て支援活動が一層広がるように引き続き支援していきたい。

JR駅における バリアフリー

議員

新設する駅や大規模改築をする駅をはじめ、五千人以上の乗降客がある駅は、段差解消などの整備が必要とされている。市内のJR駅のバリアフリーの現状と今後の整備計画はどうなっているのか。

建築部 市局長

交通バリアフリー法の対象となるJR駅は市内に十三駅あり、これに新北九州空港の最寄駅となる朽網駅を加えた十四駅について、順次バリアフリー化を進めることにしている。

既に小倉駅と戸畑駅では、エレベーター、エスカレーター及び身体障害者用のトイレなどを設置して、段差解消のためのバリアフリー化が完了した。今年度中には、駅舎改築中の西小倉駅のバリアフリー化が完了する予定である。また、平成十五年度には、今年度着工した黒崎駅と、大里本町土地

画整理事業の一環として建て替えられる門司駅がバリアフリー化を完了する予定である。さらに、平成十六年度以降については、新北九州空港の最寄駅となる朽網駅や特急停車駅である下曾根駅のバリアフリー化を行うために、JR九州と協議を進めている。

なお、法の対象とならない駅は国や市からの補助がないため、JR単独での事業実施は金銭的な面で難しい点もある。しかし、高齢者や身体障害者等の利用の実態を十分把握したうえで、JR九州と協議を行っていききたい。

※バリアフリー・・・
高齢者や身体の不自由な方が、
社会生活をしていく上での障壁
(バリア)となるものを取り除く
こと

小倉駅のバリアフリー

エスカレーター



エレベーター



(仮称)平尾台自然の郷 の安全性

議員

平成十五年四月にオープン予定の平尾台自然の郷の建設現場周辺で、以前、陥没事故がおこったとのことだが、安全性についての調査は十分なのか、
企画政 策室長 平尾台自然の郷は、自然体験型の公園、観光振興拠点、地域振興拠点という三つの機能を持った新しい性格の施設である。建設地である平尾台は、カルスト台地という特有の地形、地質を有し、昔から雨水による陥没がおこっていると聞いている。
環境アセスメントを行う中で水系調査を行ったが、地下水脈の詳細を明らかにすることは非常に困難で、陥没を予測することは不可能な状況である。このような状況を踏まえ、雨水の土砂を沈殿させ、水量が一定量超えた場合に少しずつドリーネに流れ出る仕組みの調整池を配置することとした。これにより地下水脈への影響が小さくなり、安全性は現在よりも高まるものと考えている。

また、施設内の建築物は安全確保に万全を期するため事前に地質調査を行い、安全な場所を選定し、基礎工事も特別な措置をとったうえで、すべて平屋建てとしている。このように平尾台自然の郷の整備については十分な配慮を行っているが、カルスト地形という特殊性もあり、開園後の施設管理につ

ては細心の注意を払いたい。

※ドリーネ
カルスト地形に見られるすり鉢状のくぼ地

その他の項目

他に次の項目にわたっても議論がありました。

- 下関市との図書館の相互利用
- 「武蔵」放映にあたっての観光開発と振興策等
- 小倉そう後継店誘致の状況
- 新空港及び広域観光行政
- ひびきハブポート建設
- 北九州市の将来像 など

北九州市議会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例案を可決しました。適用は次々回の一般選挙からです。

市及び各区の新定数は次のとおりです。

北九州市	61人 (64人)
門司区	7人 (8人)
小倉北区	12人 (13人)
小倉南区	12人 (11人)
若松区	6人 (6人)
八幡東区	5人 (6人)
八幡西区	15人 (15人)
戸畑区	4人 (5人)

() は現行定数

市議会を傍聴してみませんか？

市議会は、市民の皆様にとって、市政について審議・決定し、チェックする仕事を行っています。今、市で何が行われているのか、どのような問題が議論されているのか、市民の皆様により市議会の活動状況を見ていただき、議会の仕組みや役割を身近に感じ、市政や政治への関心を高めていただきたいと思います。

ぜひ、お友達やご家族とお誘い合わせのうえ傍聴においでください。

なお、耳の不自由な方には、マイクの音声を補聴器に直接つなぐ音声伝達システムをご利用いただけます。また、車椅子をご使用の方も車椅子のまま傍聴できます。もちろん一人でお見えになっても大丈夫です。

***傍聴の受付時間・場所**

会議の始まる1時間前から先着順に受付をいたします。場所は、議事堂の1階傍聴者受付です。

***定員**

・本会議 137人 ・委員会 委員会室によって10~20人

***市議会の開催日程等のお問い合わせは、市議会事務局総務課まで。《☎582-2621》**

市議会のホームページでもお知らせしています。

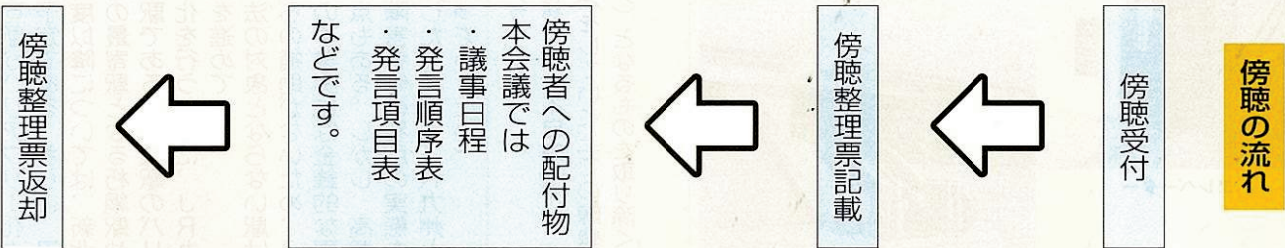
※ ホームページのアドレスは、<http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>

傍聴終了後

傍聴

定員まで先着順
で受付

会議前1時間
から受付開始



傍聴の流れ

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国などへ提出することができます。今定例会では、7件の意見書が提出され、うち3件を可決しました。その件名を紹介します。

- 地域雇用対策の改善・充実を求める意見書
- 子どもたちの健やかな成長のために総合的な子育て支援策を求める意見書
- 中小企業に対する支援策の早期拡充を求める意見書

請願・陳情の審議結果

- 陳情「国の学童保育施策に関連した本市の学童保育の拡充について」のうち第三項 《採 択》
- 陳情「学童保育施策の拡充について」のうち第十項 《採 択》
- 陳情「平野小学校・前田小学校統合計画に伴う新校舎の建設予定地の変更について」(同一内容で五件) 《不採 択》
- 陳情「竹末保育所の移転・民間委託の撤回等について」のうち第一項及び第二項 《不採 択》
- 陳情「興仁保育所と古前保育所の統合による新保育所の建設地の変更について」 《不採 択》

このほか、請願31件、陳情56件は継続審査になりました。

お知らせ

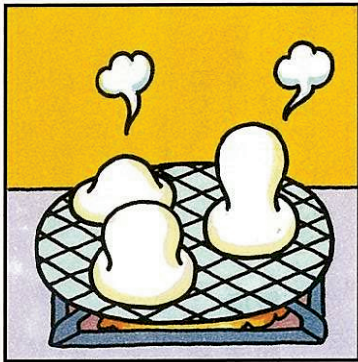
▼市議会では、視覚障害(一級か二級)のある方に、市議会だよりの点字版、又は録音テープを無料でお届けしています。ご希望の方は、ご連絡ください。

▼市議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。

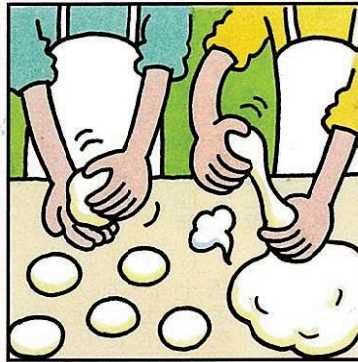
じゅんばん さがし

おもちをついて食べたいけど、順番がおかしいよ。
正しく並べなおしてね。

①



②



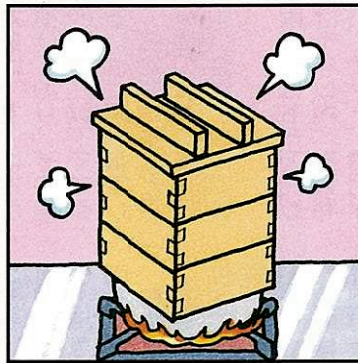
③



④



⑤



⑥



ゆがな ひつじたち

顔の向いている方に進んで、ゴールで待つお母さんの所にたどりつけるのは、羊くんかな、羊子ちゃんかな？

スタート
羊子ちゃん 羊くん

進み方

- 上
- 下
- 左
- 右

(答えは4ページにあります。)